

リリースノート — ColorBox ファームウェア v1.0.1

Firmware for AJA ColorBox

全般

ColorBox ファームウェア v1.0.1 は、機能改善を含むリリースです。潜在的な問題を避けるためにも、最新版のファームウェア にアップデートすることを強くお勧めします。

機能および設定のガイドラインについては、インストレーション & オペレーションガイド (ユーザーマニュアル) を参照してください。最新版のドキュメントは、www.aja.com の [ColorBox サポートページ](#) でご確認いただけます。

v1.0.1 での修正、変更および改善点

- ・ サードパーティ製アプリケーションを用いてフレームグラブ (Frame Grab) を行なっている際に入力ソース信号が変更された場合の挙動を改善

v1.0 での機能

v1.0

- ・ 最大 4K/UltraHD 60p 10-bit YCbCr 4:2:2 および 30p 12-bit RGB 4:4:4 に対応する 12G-SDI 入出力
- ・ 最大 4K/UltraHD 60p 10bit YCbCr 4:2:2 および 30p 12bit RGB 4:4:4 に対応する HDMI 2.0 出力
- ・ 1/2 ライン未満の超低遅延
- ・ ライセンスオプションの ORION-CONVERT および BBC HLG LUTs を含む、5つの色処理パイプライン
- ・ ビデオプレビューを備えたウェブブラウザベースのユーザーインターフェイス
- ・ 4K/UltraHD フレームキャプチャーとリコール (呼び戻し) 機能
- ・ 最大 4K/UltraHD までのテストパターンジェネレーターを内蔵
- ・ 処理された出力に重要な情報をオーバーレイ
- ・ プリセット管理機能:
各パイプラインごとに 10個のプリセットに加え、ColorBox 起動時に呼び出すプリセットを選択することができる “Startup Preset” 機能
- ・ アンシラリー (ANC) メタデータのパススルー
- ・ コンパクトなサイズ: 重量 1ポンド (約 454g)、4台が 1RU に収まるサイズ
- ・ リアルタイム制御に関する、Assimilate 社・CyanView 社・Pomfort 社・SKAARHOJ 社とのサードパーティパートナーシップを締結